

ゴーヘッドス 速報

Goaheads

第2号 平成26年3月15日

バックが追加点を許さず！

今期黒星発進 チャンスに1本出ず・・・

	1	2	3	4	5	6	7	8	R
M	2	0	0	1	0	0	0	0	3
G	2	0	0	0	0	0	0	0	2



3/15(土)岸根公園に前田ドラゴンズを迎え、今期の初戦を行った。グラウンドの状況は、先日の降雨の影響により、緩めの状態であったが、何より、今期が発進出来た事が非常に嬉しい。そんな今期の開幕投手は3年ぶり2度目の幹男がマウンドに上がった。その入りはボールから、続く球もボール、しかし、カウントを並行まで戻したが、その後8球を投じたが、最後は遊内安にて出塁を許した。次打者には犠打を決められ、スコアリングポジションに走者を進められる。後続を三ゴロに斬り二死としたが、次打者には、これまた遊内安を決められ、先制を許す。次打者には、四球を与え、後続にはセンターにアンラッキーな安打を許しセカンドから走者が生還し2点目を許した。が、続く打者は三ゴロに打ち取り、この回を2点に抑えた。その裏の攻撃、先頭に入った哲也が初球をライト前に運び、チーム初安打を記録し出塁した。2番光希は死球を貰い出塁し、無死1・2塁と得点チャンスを作る。3番祐太郎は、進塁打で共に走者を進め、4番昌平の強めの遊ゴロを野手がハンプル、これを2塁走者の光希が見逃さず、一挙生還し同点とした。その後昌平が2盗を決め、逆転を試みたが、後続が続かず同点止まりとなった。翌2回、安打と死球とタッチアップで二死二・三塁としたが、ここは幹男が踏ん張り空三振に斬り、無失点で抑えた。3回の攻撃は、1死から光希、祐太郎の連続安打で出塁したが、ここでも後1本が出ず、無失点とした。4回には2つの四球と内野安打で無死満塁としたが、DPと挟殺で守備陣が踏ん張り、この回も0封かと思ったが、内野ゴロの一塁への送球が暴投となり、相手に1点を与えてしまった。しかし、その裏、2つの死球と2つの失策から三塁に走者を進めたが、走塁の拙さから得点が出来なかった。これ以降は、共に投手・野手に乱れもなく、8回終了し残念ながら、今期黒星発進となってしまった。

振り返ってみると、やはり初回、3回・4回と得点チャンスに1本が出なかった事、更には、次を目指す確な走塁が出来なかった事であろう。特に走塁に関しては、スランプ無しとの表現も有る事から、常に次を目指す為には、帰塁後の進塁への姿勢を意識しなければ、走れるチャンスを失ってしまう。やはり、三塁に走者がいる、という事は、相手がプレッシャーを感じる、非常に有意義な展開になるが、これが、ホームインできなければ、その士気は逆転する事往々である。次戦はこの辺を見極めながら、戦いに望みたいものである。被安打の数はそこそこあったが、特段の守備の乱れが無かったことは、今日の収穫であろう。